

区 分		学 校 数			児 童 生 徒 数				
		総 数	加 入 学 校 数	百 分 比	総 数	加 入 児 童 生 徒 数	百 分 比		
育 関 係	私 立	小 学 校	3	3	100	1,014	1,014	100	
		中 学 校	3	3	100	548	548	100	
		計	6	6	100	1,562	1,562	100	
	合 計	小 学 校	585	585	100	197,887	197,830	99.9	
		中 学 校	291	291	100	115,231	115,221	99.9	
		計	876	876	100	313,118	313,051	99.9	
義 務 教 育 以 外 の 関 係	国 立	高 等 専 門 学 校	1	1	100	775	775	100	
		幼 稚 園	1	1	100	70	70	100	
	公 立	高 等 学 校	全 日 制	81	81	100	70,947	70,871	99.9
			定 時 制	30	25	83.3	6,326	5,348	84.5
			通 信 教 育	2	2	100	2,655	1,336	51.5
			計	113	108	95.6	79,928	77,555	97.0
	幼 稚 園	155	155	100	9,534	9,527	99.9		
	保 育 所	166	165	99.4	11,957	11,897	99.5		
	私 立	高 等 学 校	全 日 制	17	17	100	17,679	17,679	100
			定 時 制	1	1	100	31	31	100
			通 信 教 育	1			100		
計			19	18	94.7	17,810	17,710	99.4	
幼 稚 園		131	109	83.2	17,286	16,331	94.5		
保 育 所		44	30	68.2	3,924	2,614	66.6		
合 計	630	587	93.2	141,284	136,479	96.7			
総 計	1,506	1,463	97.1	454,402	449,530	99.0			

2. 共済掛金の額

児童・生徒1人当たりの掛金額が47年度から下記金額に改定されたため、前年度掛金収入額に比し30,615,723円の増収となった。

義務教育諸学校（小学校・中学校）1人当たりの年額	180円
高等学校全日制	300円
高等学校定時制	110円
高等学校通信制	40円
高等専門学校	380円
幼稚園	50円
保育所	50円

昭和47年度	昭和46年度	比較増減	昭和46年度を100とした比率
84,962,398円	54,346,675円	30,615,723円	157

3. 災害共済給付の状況

昭和47年度の給付件数は、12,807件で、給付金総額は、63,835,322円である。給付別には、負傷が12,460件で全体の97.3%を占め、疾病324件で2.7%、廃疾15件、死亡8件である。

学校種別にみると、給付率では中学校が最も高く、つぎに高等専門学校、高等学校全日制となり、1人当たりの平均給付額は高等学校通信制、高等学校定時制が最も高額で、高等専門学校、高等学校全日制となっている。この傾向は前年度と同様であり、高等学校生徒は、給付率も、医療費の額もいずれも高く、中学校では、給付率は高いが一件当たりの医療費の額は比較的低く、小学校は、給付率、医療費の額ともに低くなっている。

昭和46年度の給付状況と比較してみると、給付件数で、16%、給付金額で36%の伸びを示しており、なかでも、高等専門学校と保育所の伸長が著しい。

また、廃疾は前年度に比し3件、死亡は4件の増加をみせている。